

第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の取組状況

資料2

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
1 地球温暖化防止を推進するための基盤の構築	1-1	地球温暖化対策を推進する制度の構築	国内外に向けて気候非常事態を宣言するとともに、ゼロカーボンシティを表明します。	令和3年7月にゼロカーボンシティ、同年12月に宝塚市気候非常事態宣言を表明した。	地域エネルギー課
			地球温暖化対策のための条例制定を目指します。	未検討/今後、先進市の条例や取組等を研究する。	地域エネルギー課
	1-2	環境にやさしいまちづくりに取り組む人づくり・交流の場づくり	ECO講座など環境保全のために中心になって活動する人を育てる仕組みを充実するとともに、活動の場をつくりまします。	ECO講座は例年実施してきたが、令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない。	環境政策課
			市民環境フォーラムなど児童生徒や活動団体の発表・顕彰の機会・場をつくり、その活動を推進し、拡大します。	たからづか市民環境フォーラムは新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・令和3年度はオンラインで実施した。令和3年度のフォーラムでは、2団体の自然保護団体による活動発表と、環境啓発ポスターの表彰を行った。	環境政策課
			地球温暖化対策など環境保全に関するイベントやセミナーの開催及び意見交換・交流の場をつくりまします。	水辺の生き物探検、むしとりペナントレースなど、環境保全への意識向上につなげるイベントを実施した。	環境政策課
			気候変動・再生可能エネルギーなどについて気軽に知る・学ぶ・話し合うエネルギー・カフェを開催します。	未着手/来年度以降の実施を予定	地域エネルギー課
			市民、地域、活動団体、事業者、行政の環境保全に関する取組やイベントの情報を収集し、情報発信し、各主体間の交流や連携を促進します。	環境都市宝塚推進市民会議の活動をおとして、加入する保全団体、事業者間の連携を図っている。	環境政策課
			出前講座の実施など地域における省エネ活動を促進します。	facebookを活用して温暖化対策の取組の関連情報を発信した。	地域エネルギー課
			市民ボランティアとの協働により、小中学生への温暖化防止学習を実施します。	出前講座テーマ「地球温暖化の防止」として1回出席した。	地域エネルギー課
			緑化リーダーを養成します。	環境省補助金を活用し、市民環境団体と協働で地球温暖化防止学習教材として小学4年生向けの「たからっ子エコライフノート」を作成し、各校へ配布した。	地域エネルギー課
			地域緑化モデル地区を設定し、地域住民の積極的な緑化運動を推進します。	緑化モデル地区指定団体（115団体）を登録、花苗の提供等の支援を行った。	公園河川課
				ボランティアによる運営の安倉フラワーガーデンを拠点とし、緑化を推進した。	公園河川課

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
2. エコなライフスタイル・事業活動の実現	2-1	生活、事業活動における省エネ行動の推進	地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を標語に、生活や事業活動でできる省エネの取組を分かりやすく紹介し、その実践を促進します。	環境省補助金を活用し、生活の中でできる地球温暖化対策に資する賢い選択「COOL CHOICE」について考えてもらうことを目的に、30秒の啓発動画を10本作成し、ケーブルテレビJ.COMの番組間CMとして11月～1月に計403回放送した。	地域エネルギー課
			広報たからづかや市ホームページ、FM宝塚を活用し、地球温暖化に関する市の排出量や施策などの情報を分かりやすく公表します。	市域における家庭からの温室効果ガス排出量を「宝塚の環境」にて公表した。	環境政策課
			行政の情報だけでなく、市民・事業者・NPOなどの取組活動を広報たからづかや市ホームページで紹介し、省エネの取組の輪を広げます。	市域における温室効果ガス排出の状況を広報誌や市HPで掲載し、啓発を行った。	地域エネルギー課
			「省エネチャレンジだからづか」など市民の省エネ行動のインセンティブとなる事業を展開し、省エネの取組の裾野を広げるとともに定着を図ります。	未着手/ホームページ等で各団体の環境の取組を紹介することを検討予定。	地域エネルギー課
				省エネチャレンジ2021を実施し、市民301世帯の登録、うち205世帯から実績報告があった。	地域エネルギー課
			子どもを対象とする市ホームページ「たからづかKIDS」の充実を図り、地球温暖化の現状や対策について情報発信するとともに、省エネの取組を呼びかけます。	ホームページ「たからづかKIDS」で地球温暖化、生物多様性について掲載した。	環境政策課
				ホームページ「たからづかKIDS」の地球温暖化についての掲載内容を更新した。	地域エネルギー課
			市民のうちエコ診断 や事業者の省エネルギー診断 の利用促進を図ります	省エネチャレンジ2021における取組内容に「うちエコ診断の受診」を設定し、16世帯の受診があった。	地域エネルギー課
			環境教育・学習を推進する環境教育・学習活動の支援	環境省補助金を活用し、市民環境団体と協働で地球温暖化防止学習教材として小学4年生向けの「たからっ子エコライフノート」を作成し、2000部印刷製本した。	地域エネルギー課
	事業所に対して環境にやさしい通勤への協力を働きかけます。	未着手/国の「エコ通勤優良事業所認証制度」の周知等を実施予定。	地域エネルギー課		
	2-2	設備・機器や住宅・建物の省エネルギー化	ZEH、ZEH-M、ZEBの導入を促進します。	ZEH導入支援助成金を創設し、5件交付するとともに、市HPでZEHを紹介し、導入促進のPRを行った。	地域エネルギー課
			高効率給湯機（エコキュート、エネファーム等）やトップランナー基準を満たす省エネ性能の高い家電への買替を促進します。	平成28年度から設置している省エネルギー給湯機買替助成金制度において、エコキュート、エネファームへの設備更新に対して助成を行った（1万円/件。交付計38件）	地域エネルギー課
			省エネリフォームを検討する際に役立つ技術、効果、支援制度などについての情報提供を行います。	窓口での市民からの相談等において、宝塚市住宅リフォーム補助金への誘導や国補助金の情報提供を行った。	地域エネルギー課
			HEMS、BEMSの普及促進により、消費エネルギーの見える化やエネルギー管理を推進します。	未着手/今後、手法を検討する。	地域エネルギー課

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
2. エコなライフスタイル・事業活動の実現	2-3	環境学習・教育の推進	幅広い世代の人が楽しみながら地球温暖化対策を学べるイベントやセミナーを企画・開催します。	環境省補助金を活用し、生活の中でできる地球温暖化対策に資する賢い選択「COOL CHOICE」について考えてもらうことを目的に、ZOOMを用いてオンラインセミナーを5回開催、272名の参加があった。	地域エネルギー課
			企業などと連携し、親子を対象とする地球温暖化対策などの環境学習会を開催します。	未実施/オンラインによる開催も含めて、今後、実施する。	地域エネルギー課
			オンラインやインターネットを活用した啓発を充実させます。	環境省補助金を活用し、生活の中でできる地球温暖化対策に資する賢い選択「COOL CHOICE」について考えてもらうことを目的に、ZOOMを用いてオンラインセミナーを5回開催、272名の参加があった。	地域エネルギー課
			市民、地域、活動団体、事業者、行政の環境保全に関する取組やイベントの情報を収集し、情報発信します。	環境都市宝塚推進市民会議で企画したイベントや内容や、各団体の活動報告書を市ホームページに掲載した。	環境政策課
				facebookを活用して温暖化対策の取組の関連情報を発信した。	地域エネルギー課
			出前講座が積極的に活用されるよう周知します。	出前講座のメニューに「地球温暖化防止」「みんなで作ろう宝塚エネルギー」を掲載している。	地域エネルギー課
			夏至の日からクールアース・デー（7月7日）までの期間、ライトダウンキャンペーンを実施します。	未実施/市庁舎で行うことを前提としているが、コロナ禍における勤務時間の幅を拡大していることから実施できず、見送っている。	地域エネルギー課
			食育フェア、講演会、料理教室を通して、地産地消や環境にやさしい食への取組を推進します。	食育フェアの代わりにして、西公民館で約1ヶ月間、食育パネル展を開催。SDGs、食品ロス、地産地消をテーマとしたパネル等を展示し啓発。約200名の来場者があった。	健康推進課
				未実施/コロナ禍で休止していた「親子エコクッキング」を、今後実施する。	地域エネルギー課
			小中学校における地球温暖化防止教育を充実させます。	環境省補助金を活用し、市民環境団体と協働で地球温暖化防止学習教材として小学4年生向けの「だからっ子エコライフノート」を作成し、各学校へ配布した。	地域エネルギー課
高校や大学における学生参加型ワークショップ形式で実施する断熱改修や再生可能エネルギー導入を支援します。	未検討/今後、具体的手法を検討する。	地域エネルギー課			

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
2. エコなライフスタイル・事業活動の実現	2-4	市の優先的な対策の推進	環境マネジメントシステムの運用による省エネルギー、省資源を推進します。	各部署が資源・燃料・エネルギーの使用量を把握する「たからづかのエコチェック」により、環境マネジメントを行い、各事務事業における省エネ・省資源に努めている。	地域エネルギー課
			市職員への気候変動、エネルギーに関する研修を継続的に実施します。	市民向けのオンラインセミナー動画を活用し、気候変動、エネルギーに関する研修を行った。	地域エネルギー課
			公共建築物への再生可能エネルギー導入ガイドラインに基づき、コージェネレーションシステム等を活用した省エネルギー化と太陽光発電等の再生可能エネルギー導入を図ります。	施設所管課による公共施設における省エネルギー及び再生可能エネルギー導入についての相談案件について情報提供等対応した。太陽光発電設備の累積導入件数は22件（出力1kW以上）。	地域エネルギー課
			省エネルギー診断の活用による高効率設備の導入、断熱改修、ESCO事業の実施などにより、公共施設の省CO2化を推進します。	手法等を研究している。	地域エネルギー課
			公共施設のZEB化を進めます。	民間企業との協議等により、手法を研究し、実施の可能性を探った。	地域エネルギー課 施設マネジメント課
			避難所や公園への再生可能エネルギー導入を進めます。	令和3年度に公園灯LED化事業に基づき、自家発電型公園灯を10基設置した。	公園河川課
			公用車として電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車など次世代自動車の導入を進めます。	ハイブリッド自動車を5台導入している。	管財課
3. 地域環境の整備・向上	3-1	公共交通機関や自転車の利用の推進	公共交通事業者などと協議し、公共交通機関の利便性向上に努めます。	公共交通事業者を含む宝塚市地域公共交通協議会にて、市民の日常生活に必要な「活動機会を保障」することをめざして宝塚市地域公共交通計画(素案)を作成した。令和4年度中に宝塚市地域公共交通計画を策定予定である。	道路政策課
			公共交通の空白地域・不便地域における路線バスの運行支援を行います。	西谷地区、山手地区（仁川・売布）と最寄りの鉄道駅を結ぶバス路線を確保するため、バス運行事業者へ補助を行った。また、月見山・長寿力丘地区については、国の地域内フィーダー系統確保維持国庫補助を受けられるように、申請手続きを行った。	道路政策課
			自転車レーンの整備など自転車通行空間の確保を推進します。	自転車ネットワーク計画を策定し、計画内での自転車通行空間の確保にかかる優先整備路線延長8.4kmのうち、3.7kmの整備を完了した。	道路政策課
			コミュニティサイクルの事業参入に向けた検証などに協力します。	未着手/今後、他地域での導入事例を参考としながら、事業者の動向等を探る。	地域エネルギー課
			ノーマーカーターを実施するとともに、自動車を利用しないエコ通勤を推進します。	大気汚染等の公害防止を主な目的に、阪神地域7市で「阪神地域ノーマーカーター推進連絡会」を構成し、平成3年度から広域での連携した普及啓発活動を行ってきたが、近年の大気環境の改善等を背景に、現状の社会情勢に即したより効果的な活動を行うため、令和3年度中に当該連絡会としての活動を見直し、今後は次世代自動車等の推進を主な活動内容とする運びとなった。	環境政策課
			自動車への依存を控え、できるだけ公共交通機関や自転車の利用、徒歩で移動する生活スタイルへ転換するよう呼びかけます。	阪神都市圏公共交通利用促進会議で発行する「阪神地域えきバスまっぷ。」を市役所窓口や各サービスセンター、サービスステーションで配布し、路線バスの利用促進に努めた。	道路政策課
				環境省補助金を活用し、生活の中でできる地球温暖化対策に資する賢い選択「COOL-CHOICE」について考えてもらうことを目的に、30秒の啓発動画を10本作成し、ケーブルテレビJCOMの番組間CMとして11月～1月に計403回放送した。うち、1本の動画はカーシェアリングについての内容で、自動車等からの温室効果ガス排出抑制について呼びかけた。	地域エネルギー課

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
3. 地域環境の整備・向上	3-2	次世代自動車の普及促進、エコドライブの推進	次世代自動車に関する情報を発信し、普及に取り組みます。	環境省補助金を活用して実施したオンラインセミナーにおいて、EVをテーマとして、実施した。	地域エネルギー課
			次世代自動車の充電インフラ整備を推進します。	電気自動車充電スタンド 市内21か所	地域エネルギー課
			公用車において、次世代自動車の導入をさらに進めます。	公用車の利用管理システムを導入を行った。今後、次世代自動車の導入を検討する。	地域エネルギー課 管財課
			エコドライブの方法や効果などについて情報発信します。	COOLCHOICE実践ハンドブックをホームページや窓口で公開し、「エコドライブ10のすすめ」について周知した。	地域エネルギー課
	3-3	環境負荷を低減する都市づくり	公共交通事業者などと協議し、公共交通機関のネットワークの充実に努めます。	市内を運行する公共交通事業者と協議・調整を行い、公共交通機関のネットワークの維持確保に努めている。	道路政策課
			都市計画道路や主要な市道などで構成する道路網の計画的な整備を推進します。	市内の都市計画道路を効率的・効果的に整備推進するため、都市計画道路整備プログラムを策定し、順次整備を行うことにより、市内の計画延長53.8kmのうち、39.8kmの整備を完了した。	道路政策課
			公共交通で結ばれた各拠点に都市機能を集約するコンパクトシティを推進します。	立地適正化計画の原案等の作成を行った。(R4年5月公表)	都市計画課
			様々な交通手段をサービスと捉え、シームレスにつなぐMaaSの展開に参画します。	未着手/今後、先進事例、他市の取組を研究する。	地域エネルギー課 道路政策課
			電動スクーターなどの電動式マイクロモビリティの普及を促進します。	未着手/改正道路交通法の施行の見通しを注視するとともに、今後、課題を整理し、先進事例、他市の取組等を研究する。	地域エネルギー課
	3-4	緑に恵まれた環境づくりの推進	「北雲雀さすきの森緑地」に代表される市民参加型の緑地保全を支援します。	平成27年に「北雲雀さすきの森」を公園として制定し、市民主体の環境学習を令和3年度は2回開催した。	公園河川課
			地域の緑化活動を支援するとともに、宅地の緑化を推進します。	生垣等緑化推進助成金を活用し、民有地緑化を推進する。令和3年度は4件あり、生垣等緑化推進助成金を活用した民有地緑化を推進した。	公園河川課
			里山、まち山の保全整備活動を支援します。	ホームページにて保全体を紹介し、情報発信を行っている。	公園河川課
			生物多様性の観点から緑ゆたかな自然環境を保全します。	「水辺の生き物探検」や「むしとりベナントレース」などの生物多様性を学ぶイベントを実施し、環境保全への意識向上につなげた。	環境政策課
			森林環境譲与税の活用を幅広く検討し、間伐などの森林整備や人材育成・担い手の確保を支援するとともに、森林利用の促進、普及啓発に取り組みます。	森林環境譲与税を活用し、宝塚自然の家に管理棟を建築し、アスレチックの拡充を行った。今後の新たなログハウス設置、アスレチックの再整備等の公共施設等の木材利用に充当するために積立も行っている。	農政課

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
3. 地域環境の整備・向上	3-5	農地の保全・活用	温室効果ガスの削減、農業の振興、食育などの観点から、地産地消を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣防除対策事業を委託している猟友会からの有害鳥獣の捕獲頭数の実績報告を月ごとに集計し管理している。 令和3年度現在、地産地消レストランは1軒営業。 	農政課
			学校給食において地元産食材の利用を進めます。	市内の小中学校を対象に「地産地消給食」として、西谷産の農産物を市内の小中学校で定期的に利活用を行っている。また、西谷地区の農家による農産物等に係る講義や実習体験の指導を行うゲストティーチャー授業も継続して実施している。	農政課
			伝統と技術を継承している「花き・植木」を活用した緑化を推進します。	例年実施していた宝塚オープンガーデンフェスタや宝塚植木まつりは新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となったが、自宅で園芸を楽しんでもらう宝塚おうち園芸を実施し、花と緑に触れてもらう機会を創出した。	農政課
			市民農園の利用を推進します。	市内10農園（うち市直営2農園）計253区画の市民農園の募集を行い、利用いただいている。（農園利用率100%）空きがあれば、ホームページ等で追加募集をしている。	農政課
			西谷地区のソーラーシェアリングの普及啓発、市内外への情報発信に取り組みます。	西谷地区のソーラーシェアリングについて、市ホームページで周知を行っている。また、「たからっ子エコライフノート」に掲載した。	地域エネルギー課
4. 再生可能エネルギーの利用の推進	4-1	住宅・事業所における再生可能エネルギーの導入推進	太陽光発電設備と蓄電池(家庭用、電気自動車)の組み合わせによる導入を推進します。	阪神各市町と連携した太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業の協定締結準備等、令和4年度実施に向けた各市町との調整を行った。	地域エネルギー課
			ZEH、ZEH-M、ZEBの導入を促進します。	ZEH導入支援助成金を創設し、5件交付するとともに、市HPでZEHを紹介し、導入促進のPRを行った。	地域エネルギー課
			家庭用燃料電池システム（エネファーム）の導入を促進します。	省エネルギー給湯機買替助成金制度を実施し、エコキュート、エネファームへの設備更新に対して助成した（1万円/件、37件）。	地域エネルギー課
			太陽熱利用システムや薪ボイラー、ペレットストーブの導入を促進します。	未着手/令和4年度には、宝塚市再エネ・省エネ等脱炭素化設備導入支援助成金制度を創設した。	地域エネルギー課
			再生可能エネルギー由来の電気購入を促進します。	未着手/今後、阪神7市1町・神戸市で実施している太陽光発電設備等の共同購入支援事業の展開において、再生可能エネルギー由来の電気の共同購入についても実施するか検討を行う。	地域エネルギー課
			その他	宝塚市住宅リフォーム補助金を実施したが、全申請（20件）中、再生可能エネルギーの導入に関する工事はなかった（令和3年度）	商工勤労課
	4-2	地域資源を活用した再生可能エネルギーの推進	木質バイオマス資源の活用を、県や近隣市町と連携を図りながら、地域とともに検討します。	市北部地域の県有林における兵庫県の木質バイオマス有効利用事業の事業者が決定し、令和4年3月には住民説明会が開催された（令和4年8月から、玉瀬地区で伐採が開始されている）。	地域エネルギー課
			牛など畜産ふん尿の活用による再生可能エネルギー導入を、地域とともに検討します。	未着手/今後、改めて酪農家から導入の意向確認等を行う。	地域エネルギー課
			西谷地区のソーラーシェアリングの普及啓発、市内外への情報発信に取り組みます。	西谷地区のソーラーシェアリングについて、市ホームページで周知を行っている。また、「たからっ子エコライフノート」に掲載した。	地域エネルギー課
			再生可能エネルギー事業立ち上げのための人材育成講座を開催します。	未着手/今後、商工会議所等と連携するなどし、実施手法を検討する。	地域エネルギー課
エネルギー利用・消費に関するデータを公開し、地域課題の解決に向けた研究やビジネスでの活用を促進します。	未着手/今後、ノウハウを持った民間事業者との連携するなどし、協働実施について研究する。	地域エネルギー課			

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
5. 環境への負荷を低減する循環型社会の形成	5-1	ごみの減量化の推進	市民、事業者に対し3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを推進し、ごみの減量化を進めます。	広報たからづか、WEBページなどを利用し、市民、事業者に啓発を行った。	管理課
			市民、事業者に対し分別の徹底を啓発し、燃やすごみの削減を行います。	広報たからづか、WEBページなどを利用し、市民、事業者に啓発を行った。	管理課
			ごみ処理の実態を見学してもらい、ごみの削減の必要性と分別の重要性の啓発に努めます。	見学は中止している（コロナ対策）。	管理課
			事業所への直接啓発を行います。	紙ごみを含めてごみの分別等について事業所向けパンフレットを希望者に配布した。	管理課
			減量のインセンティブとして手数料の見直しを行います。	手数料の見直しについて調査・検討している。	管理課
			集団回収、店頭回収の利用促進を進めます。	広報たからづか、WEBページなどを利用し、市民に啓発を行った。	管理課
	5-2	ごみの資源化の推進	集団回収奨励金制度 など市民のリサイクル活動の支援を行います。	実施済み	管理課
			市民、事業者に対し3Rの取り組みの推進し、ごみの資源化を啓発します。	広報たからづか、WEBページなどを利用し、市民、事業者に啓発を行った。	管理課
			クリーンセンターでの処理において資源ごみのリサイクルに努めます。	実施済み	管理課
			生ごみのコンポストづくりを推進します。	コンポストの有償斡旋を以前行っていたが、申込件数減により、斡旋価格よりも量販店で買った方が安価で手に入るため、斡旋を行っていない。しかし、堆肥の作り方や活用方法などの情報については、ごみ減量化・資源化啓発センター内に掲示し、啓発している。	管理課

5つの柱	目標を達成するための対策			取組状況	
	番号	施策	市の取組	取組内容及び状況 (令和4年3月末時点)	課名
5. 環境への負荷を低減する循環型社会の形成	5-3	ごみの適正処理の推進	安定、確実な収集を実施します。	直営、委託業者6社及び、紙布ごみは宝塚市エコリサイクル事業協同組合に依頼し、年末年始を除く月曜日～金曜日は収集作業を行った。	業務課
			福祉収集の充実努めます。	親族や身近な人等によるごみ出しの協力が得られず、かつ、日常のごみの排出が困難な高齢者又は障害者に対して、戸別に玄関先までごみ収集を行い、ごみステーションにごみ出しできない人のごみ収集を助けること及び希望する人に対して安否の確認を行った。令和4年3月末時点の利用者919名。	業務課
			資源ごみのリサイクルを効率的に実施します。	実施済み	管理課
			燃やすごみを安全に焼却処分します。	実施済み	管理課
			焼却灰を大阪湾フェニックス埋め立て処分場で適切に処分します。	実施済み	管理課
			新ごみ処理施設では、ごみを焼却するときに発生するエネルギーを高効率発電により可能な限り電力に変換し、サーマルリサイクルを行います。	事業者選定の要求水準書へ記載した。事業者へ具体的な提案を求めていく。	施設建設課
			太陽光発電など、再生可能エネルギーの利用について検討します。	事業者選定の要求水準書へ記載した。事業者へ具体的な提案を求めていく。	施設建設課
			省エネ性能に優れた施設とします。	事業者選定の要求水準書へ記載した。事業者へ具体的な提案を求めていく。	施設建設課
			安定した発電ができるよう、ごみの攪拌等に努め、安定運転を行います。	実施済み	管理課
省エネを心掛けた運転を行います。	発進時に最も多くの燃料を消費するため、車のエコモード機能を利用し急発進を行わない運転を行っている。	業務課			